

SOLING 取付説明書 SL3118NVW

<p>【お客様へのお願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> 取付け・接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。 指定外の取付けや指定外の部品を使用すると、事故や怪我の原因となります場合があります。 本機取付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ販売店での取付けをお薦めします。 安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
--

<p>警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	<p>注意 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
<p>必ず行っていただく内容です。</p>	<p>してはいけない内容です。</p>
<p>しなければならない内容です。</p>	

<p>警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機はDC12V/DC24V ⊖アース車専用です。 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼルの24V 車では使用しないでください。火災の原因となります。 ● 取付け作業前に、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください。 ショートによる感電や怪我の原因になります。 ● ドリル等で穴開け作業をする場合は、ゴーグル等で目を保護してください。 破片が目に入ると怪我や失明の原因になります。 ● ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。 ● 万一、異物が入り、水がかかる、煙が出る、変な匂いがする等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。 そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。 ● 接続した/使用しないコードの先端など被覆が無い部分は絶縁テープで保護してください。 ショートによる火災、感電の原因となります。 ● コード類は、運転の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。 ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつく事故の原因となり危険です。 ● 必ず付属の部品を指定通り使用してください。 指定外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、固定不十分で外れると危険です。 ● 取付説明書で指定された通りに接続してください。 正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 本機を次の場所には取付けしないでください。 前方の視界を妨げる場所、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所。交通事故や怪我の原因となります。 エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取付けと配線をしてください。 エアバックの誤動作を引き起こしたり、交通事故の際に正常に動作しないため、怪我の原因となります。 ● 車体のボルト・ナットを使用して本機の取付けやアースを取る場合、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト・ナットは絶対に使用しないでください。 保安部品を使用すると、制動不能や発火、事故の原因となります。 ● 本機を分解したり、改造しないでください。 事故、火災、感電の原因となります。 ● 画面が表示しない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。 そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。
<ul style="list-style-type: none"> ● 車体に穴を開けて取付ける場合は、注意して作業を行ってください。 パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認のうえ、干渉や接触がないように注意してください。火災の原因となります。 ● 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。 電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。 ● 車体のネジ、シートレール等の可動部にコード類を挟み込まないように配線してください。 断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となります。

<p>注意</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の取付け・配線には専門技術と経験が必要です。 安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。 誤った配線をする、車両に重大な支障をきたす場合があります。 ● コードが金属部分に触れないように配線してください。 金属部に接触し、コードが破損して火災、感電の原因になることがあります。 ● コードの配線は、高温部を避けてください。 コード類が車体高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因になることがあります。 ● 本機の取り付け場所変更時は、安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。 取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

<ul style="list-style-type: none"> ● 水がかかる所や湿気、埃、油煙の多い所への取付けは避けてください。 本機に水や湿気、埃、油煙が混入すると、発煙や発火、故障の原因になります。 ● しっかり固定できない所や振動の多い所への取付けは避けてください。 本機が外れて運転の妨げになり交通事故や怪我の原因になることがあります。 ● 直射日光やヒーターの熱風が直接当たる所へ取付けしないでください。 金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。 また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。 ● 本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがしないでください。 内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。 ● コードを途中で切断しないでください。 コード類にはヒューズが付いている場合があります。保護回路が動かず火災の原因になることがあります。 ● 本機を車載用として以外は使用しないでください。 感電や怪我の原因となることがあります。 ● 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。 火災、故障のおそれがあります。
<ul style="list-style-type: none"> ● コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。 雨や水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけてください。 車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。

1 構成部品

ナビゲーション本体	電源ケーブル	AUX入力ケーブル	バックカメラケーブル
GPSアンテナ	DTVアンテナ (2本)	車両信号ケーブル	ハンズフリーマイク
			B-CASカード
			地図専用 microSDカード
			ショートコネクタ (6本)
			取り付けネジ (8本)

2 取り付け作業の進め方

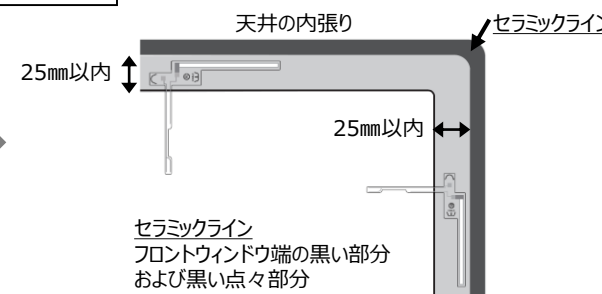
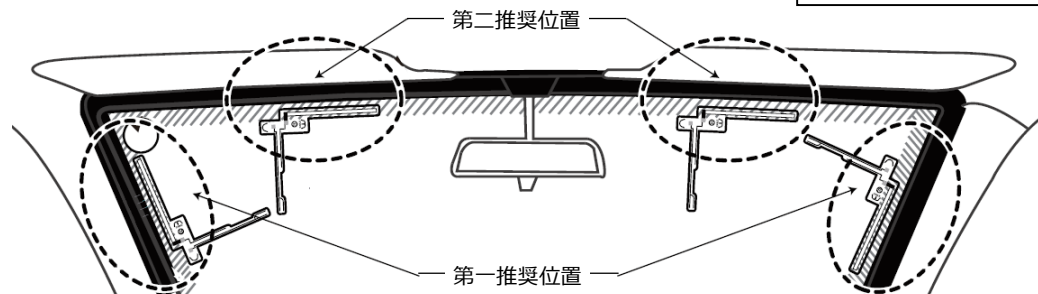
- (1) 構成部品の確認 (👉 **1** 構成部品 参照)
- (2) バッテリーの⊖端子を外す
- (3) 接続を確認する (👉 **6** 接続のしかた 参照)
- (4) DTVアンテナ、GPSアンテナを取り付ける (👉 **3** アンテナの取り付け 参照)
- (5) ハンズフリーマイクを取り付ける (👉 **4** ハンズフリーマイクの取付 参照)
- (6) ナビゲーション本体を取り付ける (👉 **5** ナビゲーション本体の取り付け 参照)
- (7) バッテリーの⊖端子を元に戻す (👉 **7** 設定および動作の確認、操作説明書 参照)
- (8) 設定および動作確認をする

3 アンテナの取り付け

【DTVアンテナを取り付ける】

フロントガラスの下図の場所へフィルムアンテナを貼り付けてください。

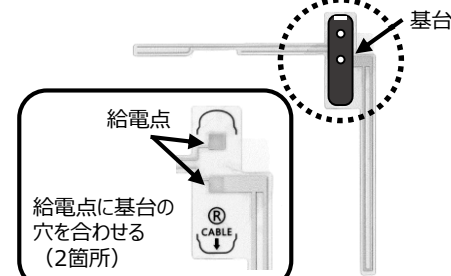
車室内からフロントガラスを見た図です。



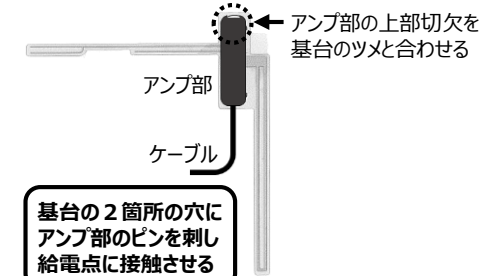
(1) フィルムアンテナを貼り付ける



(2) 基台を貼り付ける



(3) アンブ・ケーブルを取り付ける



貼り付ける際の注意点

- 一度貼り付けたら、エレメントの素子破損や粘着力が低下するため、貼り直しできません。
アンテナを貼る前に必ずコード及びアンテナを仮止めし、コードの引きまわしなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置、寸法内に正しく貼り付けてください。
- フロントウィンドウ（内側）の汚れ（ゴミ、ホコリ、油など）や、くもり止めや水分などをアルコール等できれいにふき取ってください。ガラス面が乾かないうちは貼り付けしないでください。
また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- フィルムアンテナ、アンブ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けたらしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- ガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカー剥がし剤を使わないでください。破損の原因となります。
- サイドガラスやリアガラスには貼らないでください。
- フィルムアンテナやはくり紙などを剥がした面には手で触れないでください。また長時間の放置はしないでください。汚れや汗または静電気による故障や接触不良の原因になります。
- ガラス面が結露したり気温が低いときは貼りつかなくなる場合があります。
温度が高いときはエアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどで貼り付け部分を暖めて、結露しないことを確認してから貼り付けてください。
- アンテナは点検シール、検査標章などに重ねないでください。
- 受信感度低下を防ぐために、他のアンテナや ETC 受光部から 2 センチ以上離して貼り付けてください。
- アンテナの給電部及びアンブ部は、セラミックライン上または、内張りにならないように、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。

【GPSアンテナを取り付ける】

電波の遮られにくい、平らな場所に設置してください。

推奨取り付け位置

GPSアンテナ裏面に両面テープを貼り付け推奨場所へ設置してください。

GPSアンテナは車内専用となります。
GPSアンテナは車載機器（※1）および各アンテナ類（※2）から50cm以上離して設置してください。車載機器や各アンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しにくくなったり、誤動作を起こす可能性があります。

※1 ETC 車載器、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど
※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど

- 取り付け前に、必ずGPSアンテナ裏面の両面テープを剥がしてください。
- 取り付け面の汚れ、油などをふきとってください。
- アンテナは電波の遮られにくい水平な場所に設置してください。
- アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作不良へつながり、再使用できません。
- 受信状態が良くなる角度に調整してください。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

4 ハンズフリーマイクの取り付け

- ① ステアリングコラムカバーの中心にマイクの取付位置を決めてください。
● チルト・テレスコピック時、マイクが車両部品と接触しない位置に貼り付けてください。
- ② マイクをステアリングコラムカバーの中心に取り付ける。
● マイクを取り付ける際、取り付け位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- ③ コードをクランパーで固定しながら本体取り付け位置まで配線する。
※クランパーは付属していません、必要に応じて別途購入してください。

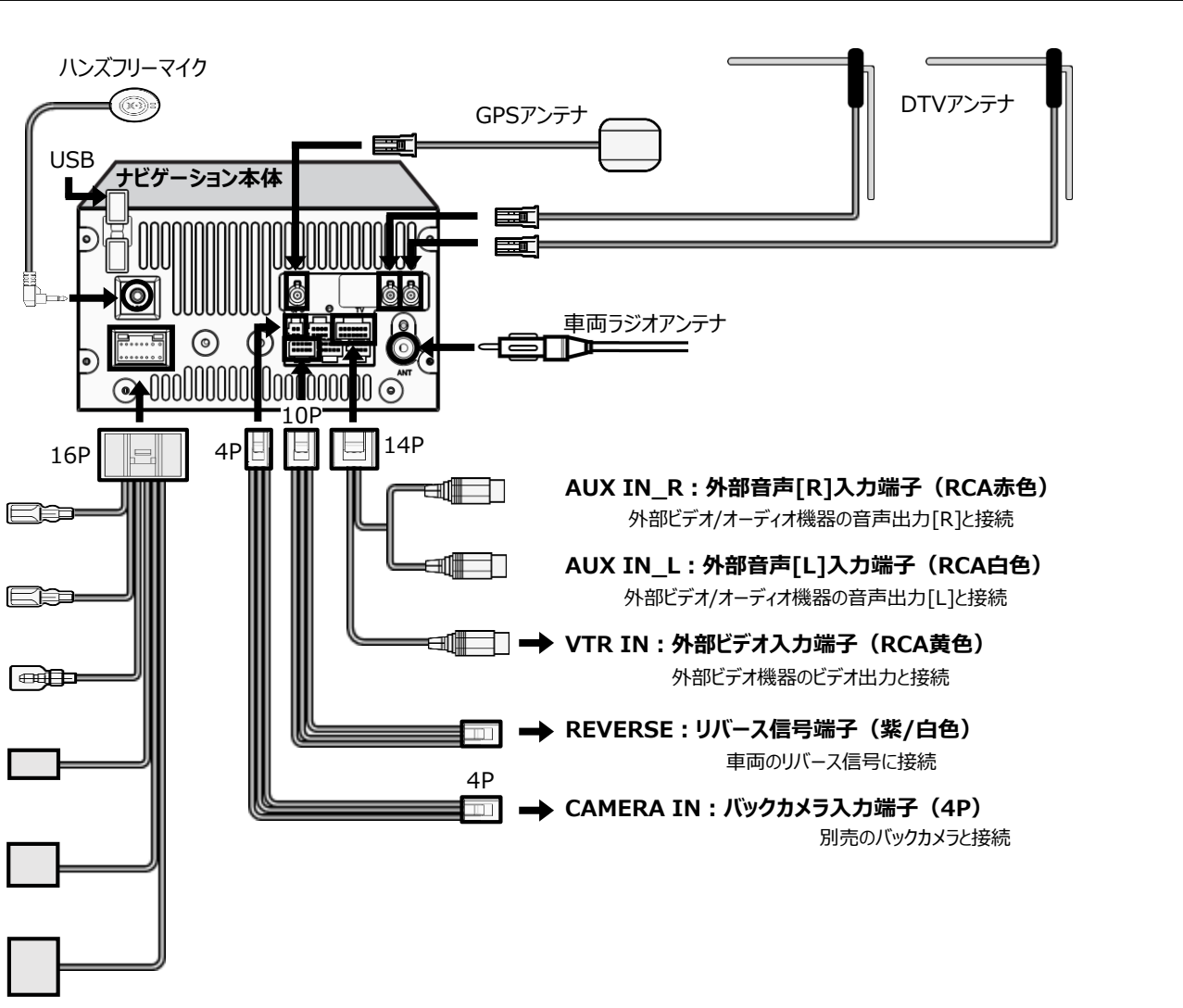
警告
コードは、運転操作を妨げないよう、クランパーで固定してください。ステアリングやソフトレバーなどに巻き付くと事故原因となり危険です。

6 接続のしかた

車両のキーの位置に関係なく常時電源が加わっているところに接続

車両のキー-LOCKかOFFにすると電源供給が切れ、ACCにすると電源が加わる場所に接続

- +B : バッテリー電源端子 (黄色)** ← 車両のキーの位置に関係なく常時電源が加わっているところに接続
- ACC+ : ACC電源端子 (赤色)** ← 車両のキー-LOCKかOFFにすると電源供給が切れ、ACCにすると電源が加わる場所に接続
- ILLUMINATION : 照明用電源端子 (橙色)** ← 車両のライトスイッチをONにした時に、電源が加わる場所に接続
- リアスピーカー出力端子 (6P)** ← 車両リアスピーカーコネクタ (6P) に接続
- 電源入力/フロントスピーカー出力端子 (10P)** ← 車両オーディオコネクタ (10P) に接続
- ステアリングスイッチ接続端子 (20P)** ← 車両ステアリングスイッチコネクタ (20P) に接続



5 ナビゲーション本体の取り付け

付属固定ネジ

- ① 車両のオーディオ、小物入れ等を取り付けているブラケットを取り外し、本体にこのブラケットを取り付けます。(付属固定ネジ)
- ② 本体に各コードを接続してから車両に取り付けます。

前面

-5~20°の範囲で取り付けます。

水平

- 車両に付属するブラケットのネジ穴に合わせて取付位置を選び、付属の固定用ネジで取り付けてください。
- 車両の元の位置に取り付けてください。
※フェイスパネル、ブラケットの形状によっては、付属のネジで取り付けられないことがあります。
※取り付けは水平に対して、-5度~20度までの角度にて取り付けをお願いします。
- タッチパネルは傷が付きやすいので、ご注意ください。汚れが落とすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）で軽く押さえるようにして拭いてください。汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品やツヤ出し剤は使用しないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。

7 設定および動作を確認

取扱説明書を参照して接続確認、基本設定を行ってください。

(1) 接続確認
⇒ナビ設定メニュー：GPS・センサー情報

① GPS受信

② 車両信号接続
・車速パルス信号
・リバース信号
・パーキング信号
・イルミネーション信号

(2) ステアリングスイッチ設定
⇒設定メニュー：システム：ステアリングスイッチ

汎用ハーネスキット (SL-NV183) を使用する場合

接続コードを本体に接続する前に必ずアースコードを車両側に接続してください。スピーカー端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。

アースが確実にとれる車両の金属部には接続

車両のキーの位置に関係なく常時電源が加わっているところに接続

車両のキー-LOCKかOFFにすると電源供給が切れ、ACCにすると電源が加わる場所に接続

車両のライトスイッチをONにした時に、電源が加わる場所に接続

使用しません。← CONT+B : パワーコントロール端子 (青/白色)

（ラジオアンテナ）
● ガラスアンテナ：車両側のアンテナアンプ電源端子に接続
● ショートボールアンテナでアンテナアンプ装着車（ルーフアンテナ、マイクロアンテナ等）も同じ
● オートアンテナ：車両側のオートアンテナのコントロール端子に接続

- GND : アースコード (黒色)** ← アースが確実にとれる車両の金属部には接続
- +B : バッテリー電源端子 (黄色)** ← 車両のキーの位置に関係なく常時電源が加わっているところに接続
- ACC+ : ACC電源端子 (赤色)** ← 車両のキー-LOCKかOFFにすると電源供給が切れ、ACCにすると電源が加わる場所に接続
- ILLUMINATION : 照明用電源端子 (橙色)** ← 車両のライトスイッチをONにした時に、電源が加わる場所に接続
- AUTO ANT : オートアンテナ用電源端子 (青色)** ←
- AUX IN_R : 外部音声[R]入力端子 (RCA赤色)**
外部ビデオ/オーディオ機器の音声出力[R]と接続
- AUX IN_L : 外部音声[L]入力端子 (RCA白色)**
外部ビデオ/オーディオ機器の音声出力[L]と接続
- VTR IN : 外部ビデオ入力端子 (RCA黄色)**
外部ビデオ機器のビデオ出力と接続
- REVERSE : リバース信号端子 (紫/白色)**
車両のリバース信号に接続
- SPEED : 車速パルス信号端子 (桃色)**
車両の車速パルス信号に接続
- PARKING : パーキングブレーキ信号端子 (黄/緑色)**
車両信号コネクタ (5P) に接続
- CAMERA IN : バックカメラ入力端子 (4P)**
別売のバックカメラと接続
- FR・FL : フロントスピーカー出力端子**
車両フロントスピーカーに接続 右+ (灰色) 右- (灰/黒色) 左+ (白色) 左- (白/黒色)
- RR・RL : リアスピーカー出力端子**
車両リアスピーカーに接続 右+ (紫色) 右- (紫/黒色) 左+ (緑色) 左- (緑/黒色)
- ステアリング SW1 : ステアリングスイッチ信号端子 (白/青色P)**
車両のステアリングスイッチの信号コード (SW1) に接続
- ステアリング SW2 : ステアリングスイッチ信号端子 (茶色)**
車両のステアリングスイッチの信号コード (SW2) に接続
- ステアリング GND : ステアリングスイッチGND端子 (黒色)**
車両のステアリングスイッチの信号コード (GND) に接続

電源/アース端子には、絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

電源/アース端子には、絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

ステアリングリモコン適合車種情報
<https://www.tricheer.co.jp/support/>